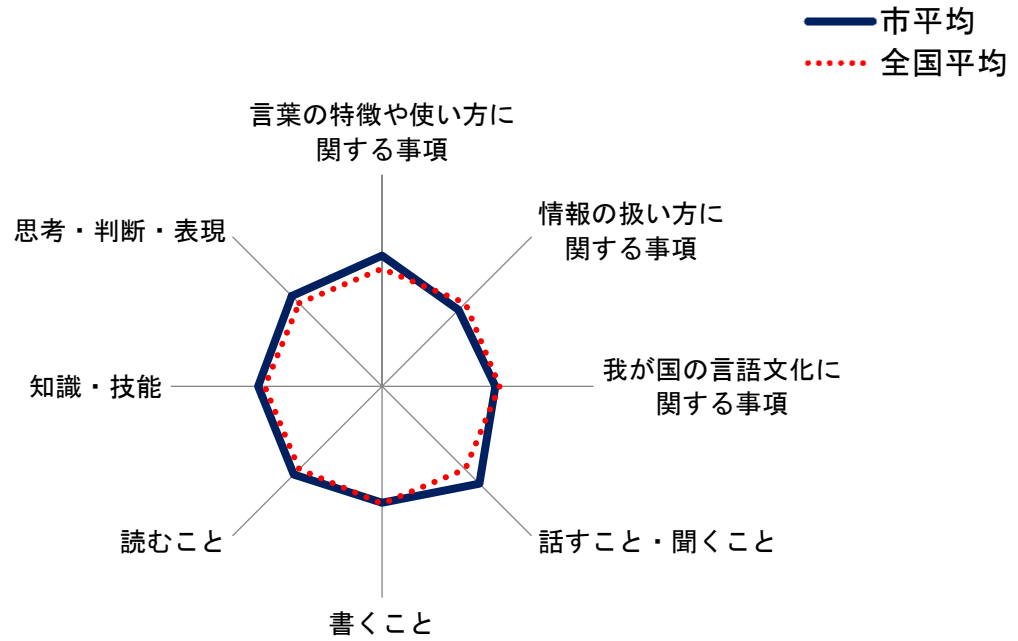
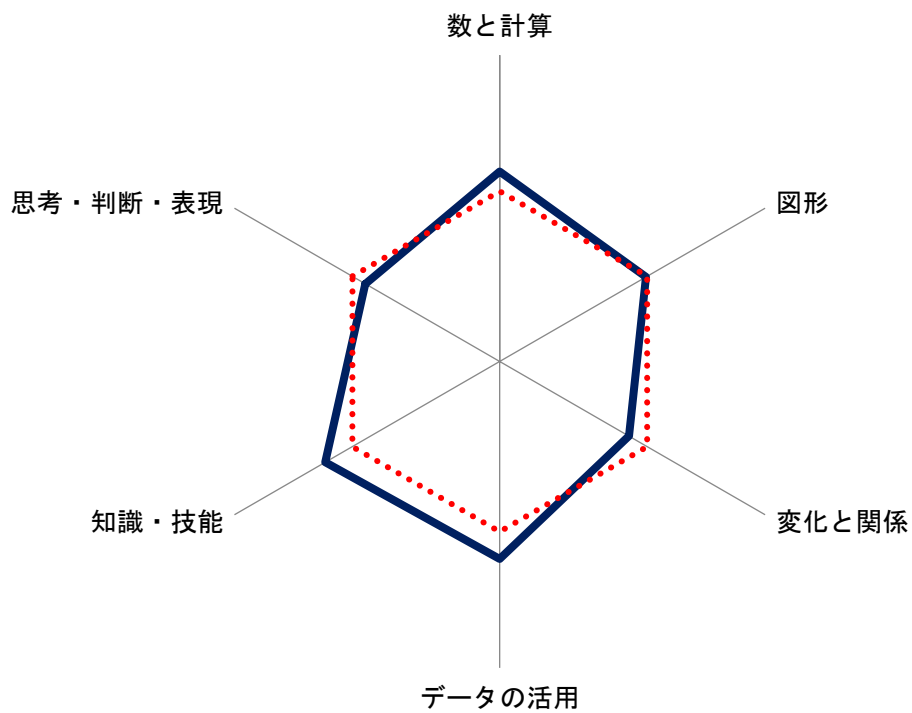


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

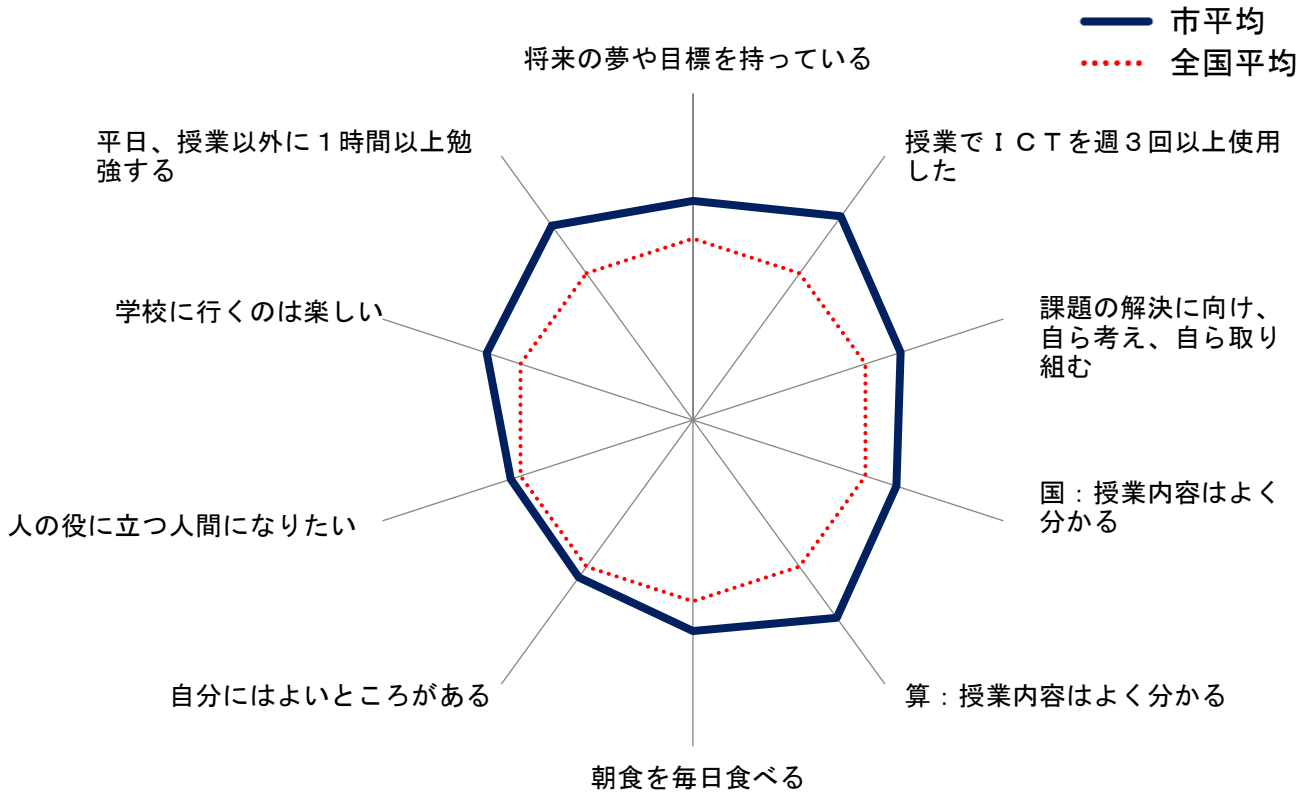
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」と算数の「データの活用」「知識・技能」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、算数の「変化と関係」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後は、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問調査では、全ての項目が全国平均を上回っている。特に、「授業でICTを週3回以上使用した」、「算数の「授業内容はよく分かる」」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」などの項目は全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。今後も、学力向上に向けた授業改善や基本的な学習習慣の確立に向けた取組を、学校と家庭が連携してより一層推進していくことが望まれる。